

## 4月のできごと

## 3か国の選手たちを紹介



▲競技中の写真などが展示された  
◀各国の郷土料理や景色も紹介

スイス・ラトビア・モンゴルのパネル展  
4月1～30日 市役所

東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿地として富士市と覚書を締結しているスイス水泳チーム、ラトビア陸上競技チーム、モンゴルパワーリフティングチームの選手などを紹介するパネル展を開催しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会出場が有力視されている各国の代表選手の紹介や競技中の様子、郷土料理の写真などを展示し、1年の延期が決まった競技大会への機運を高めました。

## 感染症に負けず交通安全運動



▲のぼり旗で安全運転を訴えた  
◀巡回する交通指導車

春の全国交通安全運動街頭啓発  
4月6日 市役所周辺

春の全国交通安全運動（4月6～15日）の初日、市役所周辺で市民安全課職員10人がドライバーや歩行人に交通安全を訴えました。この日は、交通安全運動に携わる市民ら多数の参加者を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、規模を縮小して実施しました。

職員は、「交通安全運動実施中」と書いた黄色いのぼり旗を持って交差点に立ったり、交通指導車で歩行者の安全の確保などを呼びかけたりしました。

## 日頃作業している現場に感謝



▲溝蓋を外して丁寧に清掃  
◀外もきれいに掃除した

ボランティア清掃  
4月14日 ふじさんめつせ

イベント企画会社の(株)プランニング富士（日乃出町）と電気設備工事会社の(株)吉原中央電業社（中央町3）の社員合わせて8人が参加。日頃業務で利用していることへの感謝を込めて、手入れが行き届きにくい大展示場の溝などをボランティアで清掃しました。

ふじさんめつせは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、多くのイベントが中止になっています。今回の清掃は、会場を使用していない時期だからこそ、実施したとのこと。



▲黙々と作業をする利用者の皆さん。使用する生地はマスクの大きさなどによって利用者が選んでいる

## 丁寧に布製マスクを製作

### 布製マスクの製作

4月24日 障害者就労支援施設ひめな

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、マスクの需要が高まっています。そんな中、以前から布製マスクを製作していた障害者就労支援施設ひめなには、例年の10倍以上の注文が入っていて、1日当たり約80枚のペースに増産しています。

マスクは子ども用や大人用、立体型など5つのサイズがあり、柄も様々。利用者はマスクをミシンで縫い、ほつれや汚れがないか確認したあと、ゴムひもを通し、一つずつ丁寧に包装していました。

## みんなできれいなまちづくり

# ふじクリーンパートナーを募集しています

市は、市民の皆さんと役割を分担し、協力して美化活動を進める「ふじクリーンパートナー」事業を行っています。一緒にきれいなまちをつくりませんか？

### ふじクリーンパートナーとは？

団体・企業の皆さんが美化活動を行い、市は清掃用品の支給やごみの収集などの支援をすることで、役割を分担しながら一緒に道路や公園などの公共施設をきれいにする取組です。

令和2年4月1日現在で87団体が活動しています。

### 市の支援について

#### 対象／

定期的に市の公共施設の美化活動を行っている、または行う予定のある団体・企業など

#### 内容／

- ・清掃用品の支給
- ・活動で出たごみの収集
- ・活動区域内への団体・企業名などの入った標示板の設置（希望者）

#### 参加方法

活動届出書（市民協働課で配布、市ウェブサイトでダウンロード可）に必要事項を記入し、市民協働課に提出してください。



▲詳しくはこちら

## 仕組みと流れ

### 団体・企業など

#### 3 美化活動

道路、公園などの公共施設の美化活動



#### 1 合意

それぞれの役割を確認し、合意書を取り交わす



#### 4 活動報告 (年度末)



### 市

#### 2 美化活動の支援

- ・物品の支給
- ・ごみの収集
- ・標示板の設置

